

テーマ展3

# 縄文人のセンス

◆ ◆ ◆ 貝鳥貝塚の出土品 ◆ ◆ ◆

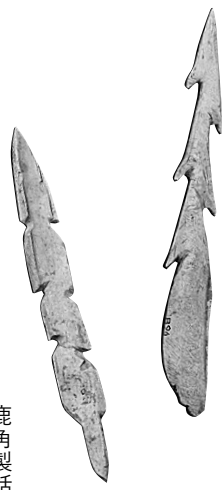
岩手県一関市花泉町に所在する貝鳥貝塚は、内陸部に所在する縄文時代の淡水貝塚としては国内有数の規模を持ち、岩手県の史跡に指定されています。

貝鳥貝塚は昭和30年代から40年代にかけて発掘調査され、動物の骨や牙、鹿の角などを材料とした装飾品や漁労具の数々が出土し、大きな話題を呼びました。他方、数多くの縄文人骨も発見され、こちら人類学方面を中心に全国から衆目を集めています。当時の新聞記事では「花泉地方は北の平泉と並んですっかり古代文化研究の中心地」と評されています。

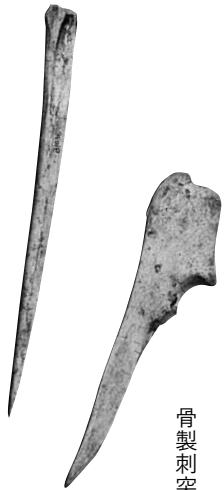
当時、発掘調査を主体的に推進されたのは岩手大学の草間俊一氏でした。また動物遺体や骨角器等の整理を担当されたのは早稲田大学の金子浩昌氏でありました。貝鳥貝塚出土の骨角器類は金子氏が研究資料として長らく管理保管されていましたが、平成25年に当市に返却され、現在は教育委員会の所蔵品となっています。

本展覧会では、金子氏から受け継いだ貝鳥貝塚出土の骨角器を中心として、当時の生活を彩った装飾品や食料採取のための道具類、土器や土偶などを出陳いたします。当市を代表する縄文遺跡を形作った、縄文人の感性—センス—の一端を感じ取っていただければ幸いです。

鹿角製鉾



骨製刺突器



骨や鹿角製の筭



装身用針



骨製の釣り針



骨や牙で作られたペンダント



貝鳥貝塚出土の縄文人骨（満昌寺蔵）

## 講演会



「東日本の縄文貝塚と貝鳥貝塚—可沼のほとりの人々—」

1月26日[土] 13:30~15:00

講師 / 熊谷常正氏(盛岡大学文学部長)

定員 / 一般100名(要申込) 参加料 / 無料

## 展示解説会

1月26日[土] 15:15~16:00

3月16日[土] 10:30~11:15、13:30~14:15

開館時間 9:00~17:00 (入館は16:30まで) 休館日 毎週月曜日(祝日の場合は翌日)

入館料 一般 300円(240円) 高校生・大学生 200円(160円) 中学生以下 無料

※( )内は団体(20名以上)割引料金

次の方々の入館料は免除となります ①障がい者・介護者の方(障がい者手帳などを提示願います。)

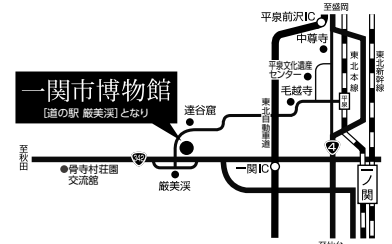
②65歳以上の一関市民の方(年齢・住所が証明できるものを提示願います。)

共通入場券 1年間有効1,000円 / 10日間有効500円

※有効期限内に限り、何度でも対象施設に入館可能 (一関市博物館、芦東山記念館、石と賢治のミュージアム、大籠キリシタン殉教公園)

## 【交通のご案内】

- 自動車 一関ICより西へ 約7分(5km)  
一ノ関駅より西へ約17分(9km)
- 路線バス 一ノ関駅前9番乗り場 蔵美溪方面行約20分  
(蔵美溪バス停下車徒歩7分)



## 一関市博物館

ICHINOSEKI CITY MUSEUM

〒021-0101 岩手県一関市蔵美町字冲野々215番地1

TEL 0191-29-3180 FAX 0191-33-4006

https://www.city.ichinoseki.iwate.jp/museum/